

令和8年度 北方町保育教育の方針と重点

めざす子どもの姿

やさしくてたくましい子

だれもが尊重され、互いに認め合えるとともに、さまざまな課題に対し、自ら考え協力して乗り越えていくことのできるたくましい力を育むことのできる園・学校をめざす。

1 基本施策

幼保小中一貫保育教育

幼保小中の教職員が子どもの各発達段階で身に付けるべき力を共通理解し、より効果的に子どもの学びが深まるように、指導を工夫したり、異学年学習を取り入れたりする。

2 取組内容

挨拶 掃除 整頓

- ・ 互いを尊重する
- ・ 安心して学校生活を送る

学力向上

- ・ 異学年学習
- ・ 文章を読む、文字を書く
- ・ 5部会の取組

不登校対策

- ・ 居場所づくり
- ・ 初期の寄り添った対応
- ・ 楽しい学校生活

いじめ対策

- ・ 初期の組織対応
- ・ 子どもと向き合う
- ・ 考える日の取組の工夫

部活動

- ・ スポーツ、文化活動の場の確保
- ・ 生徒会主体の北方町独自方式の工夫

3 研究推進

幼保小中一貫保育教育を通し「やさしくてたくましい子」を育成する

「各園・学校のテーマや研究内容」「異学年学習」「15年間カリキュラムの活用」「幼保小架け橋プログラム（スタートカリキュラム）」「英語教育の推進」「北方科の実践」「ICT教育の推進」について、日々の保育教育活動の中で意識し、積み上げた具体的な実践の記録を研究成果とする。

4 教職員の働き方改革

「業務量管理・健康確保措置実施計画」に沿って、教職員が心身ともに健康で働きがいのある職場をめざす。